

本小精神として生きている JRC 活動 (JRC 登録式)



・5月29日 JRC 登録式がありました。今年入学した81名の1年生に対し、日本赤十字の今野洋明さんから青少年赤十字会員の証であるバッジが手渡されました。併せて、子どもたちにメッセージを頂きましたので、以下に抜粋した内容をお知らせします。

～以下メッセージ～

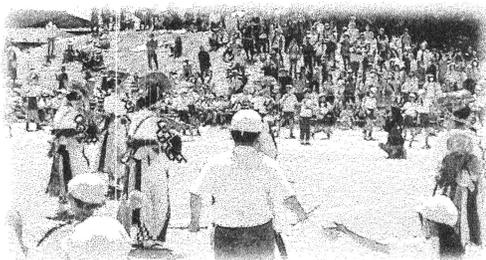
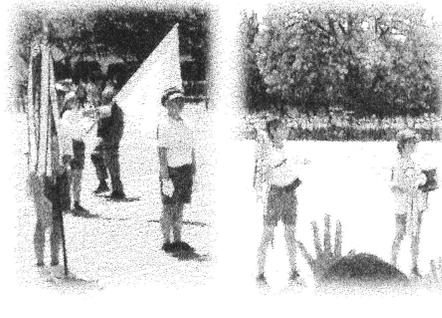
学校の子もたちや先生方が、戦争で苦しむ国や人々を助けようとした気持ちや行動がもとになって作られたのが、青少年赤十字なのです。もちろん本宮小学校の皆さんも青少年赤十字の一員です。皆さんの中には、学校や学校の周りで困っている人を見かけたことがある人がいると思います。その時、皆さんはどんな気持ちになったでしょう。どうしてあげたいと思ったでしょう。青少年赤十字は、困っている人がいたら助けてあげたいという気持ちを行動に移すということをとっても大切にしています。

青少年赤十字活動は、特別なことではありません。皆さんの心の中にある、優しさを行動に移した活動が全て青少年赤十字活動と言ってもいいでしょう。また、青少年赤十字には、「気づき」「考え」「実行する」という目標もあります。気づき、考えたことを実行に移すときには、一歩踏み出す勇気が必要な場面があります。本宮小学校の皆さん「優しさと勇気」をもって、いろいろな活動に取り組んでみて下さい。きっと今よりも更に、素晴らしい自分になれると思います。

最後に、本宮小学校の校歌が大好きです。歌詞の中で、「本宮の道は、世界へ続いている」というところがあります。皆さんは、本宮、盛岡、日本、世界で活躍できる人たちです。一生懸命頑張ってほしいと思います。

【ミニ情報】
・本宮小学校の JRC 委員会は、第 27 代 金子 豊校長先生のときに発足しました。その時、関わった先生が、この度いらしていただいた今野洋明さんなのです。また、青少年赤十字の精神を継承し、第 28 代 馬場英彦校長先生の時代には、アルミ缶回収を行い車椅子を贈る活動に取り組んだそうです。

子どもたちの頑張りが光った大運動会



・澄み切った青空のもと 150周年記念大運動会を無事執り行うことができました。

お家の方や地域の方、一緒に取り組んでいる仲間の声援を力に、どの子どもも全力で取り組むことができた感動いっぱいの運動会になりました。おかげさまで、校庭に集った皆さんと記憶にも記録にも残る素敵な運動会を創ることができました。

また、運動会終了後、会場撤収に際し、保護者の皆様、親父の会の皆様のご協力により滞りなく片付けることができました。とても助かりました。ありがとうございました。

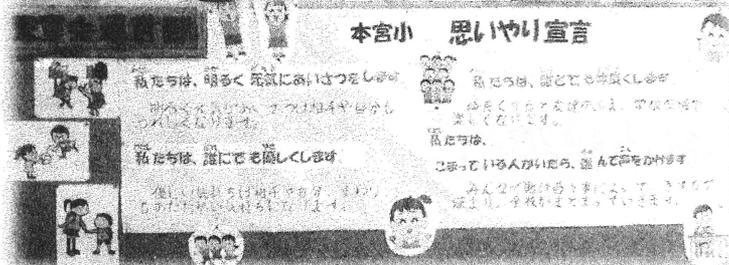


人を大切に！ 心の花

5月23日(木)に富谷行雄さんと田中益子さんの二人のお客様が本宮小学校を訪ねていらっしゃいました。その際、プランターと土、それに素敵な苗を本校にプレゼントして下さいました。そのお客様は、次のようなことをおっしゃっていました。

「わたしたちは、人権の花運動を行っています。学校に配布した花の苗や球根などを、子どもたちが協力し育てることによって、生命の尊さを実感し、その中で、豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としています。」と…。その思いを受け、環境委員の皆さんが丁寧に植栽してくれました。今も欠かさずお世話をし、優しさと思いやりをまとった綺麗な花を咲かせています。

全校に思いやりの輪広め隊 “児童会運営部” 「思いやり宣言」



ある朝、交通安全指導をしながら玄関先に目を移すとある子が立ち尽くして泣いていました。悲しいことや寂しいことがあったのでしょうか。すると近くにいた高学年の女の子がずっと近づき、泣いている子の手を取って優しく玄関に導こうとしていました。

しかし、その子はなかなか動こうとしません。すると、しゃがんで優しく声をかけ、そっと抱きかかえ、玄関の中へ消えていきました。その姿が、なんとも自然に行われたのに驚きました。もしかしたらその子のお姉さんかと思ひ確認したところそうではないということが分かり更に驚きました。泣いていた子の教室にそっと行って様子を見るとその子には笑顔が戻っていました。

高学年のお姉さんがとった思いやりと優しさの行動が、泣いていた子どもに笑顔を取り戻させることに繋がったのだと思いました。

本小の「思いやり宣言」は本物です。

“プールさん”今年もよろしくお願ひします！

・今年のプール開きは、6月12日(水)～14日(金)の期間において、各学年で行われる予定です。また、実施期間は、1学期中と言うことで正味1ヶ月と言うこととなります。その期間、安全に、そして楽しく、気持ちよく使うことができるようにと5月29日(水)、5年生の皆さんと学級担任、それに、用務員さんが1日かけてプールを綺麗にして下さいました。ありがとうございました。

5年生の皆さんの「一人はみんなのために。みんなは一人のために。」そして、「人に尽くして、見返りを求めない」取り組みがとても頼もしかったです。



子どもを悪くする 三つの方法

一つ目の方法

「子どもの前で近所の人に挨拶をしない」という方法です。
近所の人だけでなく、知っている人にも挨拶をしないようにするのは、そうすれば子どもは間違いなく陰気で礼儀知らずの人間に近づいていきます。

二つ目の方法

「家の中で手伝いをさせない」という方法です。
家のみんなが働いているのに、遊んでいても平気でいられるような子にするのです。そうすれば、子どもは学校でもそうしますから、そのうちに多くの友達からの信用を失い、最後にはひとりぼっちになってしまいます。
特に掃除をさせないのがこの場合の一般的な方法です。

三つ目の方法

「子どもの頭を悪くさせる」という方法です。
この方法が効果的である理由は、とてもはつきりしています。お父さんやお母さんが悪く言っている人の話は、どんなに素晴らしい話でも、その子の心へは響かないのです。

ここで、皆さんへ子どもを悪くする三つの方法をお伝えしました。

反対に、子どもをよくする方法はたくさんあります。これから一つ一つ実践し、子どもをよくする方法を工夫し、ご家庭や地域の皆様と共に協力して子どもたちを育てていきたいと考えています。

ある先輩教員からの教えより